

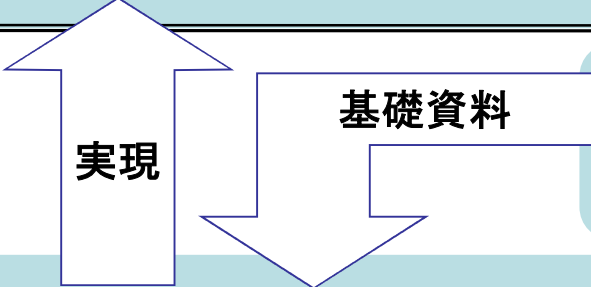
滋賀県流域治水の推進に関する条例骨子案の概要

◎前文 ・条例制定の背景 ・流域治水を推進する意義 ・条例を制定する目的

◎総則
・用語の定義
・基本理念
・県、県民、事業者の責務

◎目的 ・流域治水を総合的に推進し、もって浸水被害から県民の生命、身体および財産を保護し、将来にわたって安心して暮らすことができる安全な地域の実現に資する

◎想定浸水深の設定等
・県：流域治水に関する施策の基礎資料として、想定浸水深（地先の安全度マップ）を設定
おおむね5年ごとに設定・公表



ながす

◎河川における氾濫防止対策
・知事：管理する河川の整備を行う。
河道の拡幅等を計画的・効果的に推進
流下能力を維持するための河川内樹木の伐採等
当面河道拡幅等が困難な区間における堤防の強化

◎氾濫原における建築物の建築の制限等
・浸水危険区域における建築規制
区域の指定（200年確率降雨で浸水深約3m以上の区域）
建築の制限、許可の基準、建築物の調査、立入検査
・10年確率降雨で浸水深50cm以上の区域は市街化区域へ新たに編入しない（対策が講じられる場合を除く）
・盛土構造物の設置等の際の配慮義務

とどめる

◎雑則
・財政上の措置
・市町条例との関係

ためる

◎集水地域における雨水貯留浸透対策
・森林および農地の所有者等：森林および農地の適正な保全による雨水貯留浸透機能の発揮
・公園、運動場、建築物等の所有者等：雨水貯留浸透機能の確保

◎浸水に備えるための対策
・県：避難に必要な情報の伝達体制を整備・市町への支援
・県民：日常生活で備えるとともに、非常時には的確に避難
・宅地建物取引業者：宅地等の売買等に情報提供
・水害に強い地域づくり協議会を組織し、必要な取組を検討

そなえる

◎罰則
・建築規制に関する規定に違反した者への罰則および過料